

# インサル<sup>®</sup>基礎防蟻ジョイントテープ 標準施工仕様書

株式会社エービーシー商会  
インサル事業部

## 【目次】

|             |   |
|-------------|---|
| 1.はじめに      | 1 |
| 2.取扱い上の注意事項 | 1 |
| 3.製品一覧      | 1 |
| 4.使用工具      | 2 |
| 5.施工上の注意事項  | 2 |
| 6.施工条件      | 2 |
| 7.標準施工仕様    | 3 |
| 8.施工後の注意事項  | 6 |

## 1.はじめに

本標準仕様書は、インサル®基礎防蟻ジョイントハードの取り扱い上での注意事項と、標準施工仕様について説明したものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、適切な取り扱い方法で安全に作業を行う様にしてください。

## 2.取り扱い上の注意事項

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- ・当商品を取り扱う際には必ず保護具(保護マスク、保護手袋、保護衣、保護メガネ等)を着用してください。
- ・容器を密閉してください。
- ・熱・火花・裸火・高温の着火源から遠ざけてください。
- ・火花を発生しない工具を使用してください。
- ・粉塵・煙・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないでください。
- ・眼に入った場合は、水で数分間洗ってください。目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けてください。
- ・飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡してください。また無理に吐かせないでください。
- ・取り扱い後はよく洗ってください。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- ・気分が悪いときは医師の診断・手当てを受けてください。
- ・環境への放出をさけてください。

## 3.製品一覧



### インサル®基礎防蟻ジョイントハード

|       |         |
|-------|---------|
| テープ幅  | : 30mm  |
| ロール長さ | : 8m    |
| 梱包数量  | : 5 ロール |



### プライマー

|        |         |
|--------|---------|
| 容量     | : 500ml |
| 施工可能長さ | : 約 40m |



### 刷毛

|        |        |
|--------|--------|
| サイズ(幅) | : 50mm |
|--------|--------|

#### 4.使用工具

以下の工具については現場で用意してください。



##### 圧着用ローラー

ローラー幅: 35mm 程度



##### ハサミもしくはカッター

商品カット用

#### 5.施工上の注意点

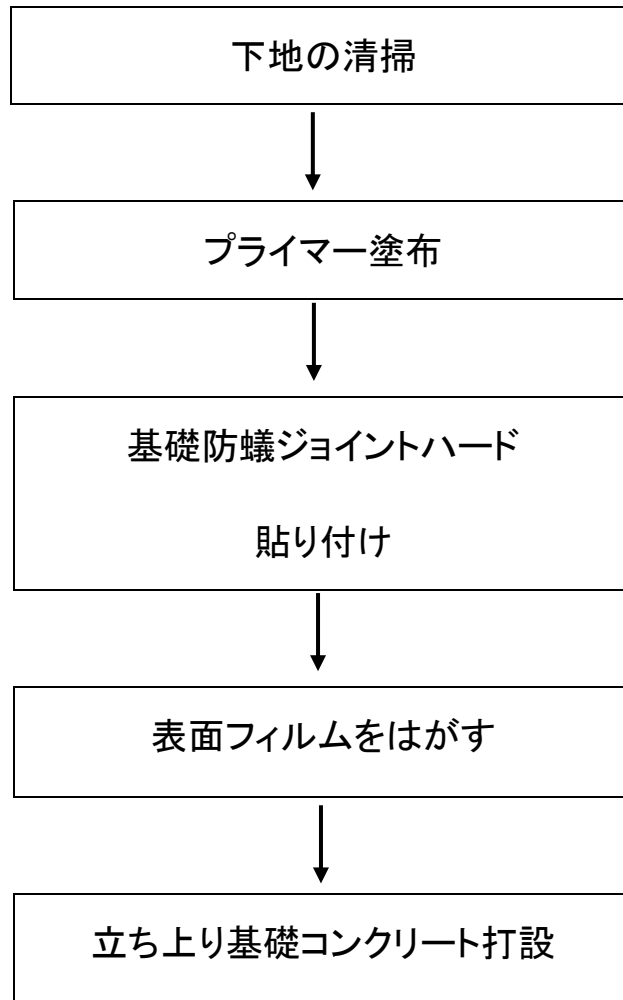
- ・本製品はベースコンクリートが乾燥した状態でご使用ください。
- ・ベースコンクリートの硬化後、取り付け部分の水分、レイタンス、ホコリ等をできるだけ取り除き専用プライマーを塗布して取り付けてください。
- ・製品同士の接続は 30mm 以上重ねて貼り付けてください。
- ・表面フィルムの上から必ずローラー圧着してください。
- ・プライマー塗布後に期間をあけるとゴミ等の付着により接着強度が落ちる可能性があるため、塗布後速やかに基礎防蟻ジョイントハードを施工してください。
- ・基礎防蟻ジョイントハードの表面フィルムは立ち上り基礎コンクリートをすぐに打設する場合は施工後にはがしても問題ありませんが、期間が空く場合は汚れの付着防止などを考慮し、打設直前にはがしてください。
- ・表面フィルムをはがさずにコンクリートを打設してしまうと、コンクリートと接着しない状況になりますので、必ずはがしてから立ち上りコンクリートの打設を行なってください。

#### 6.施工条件



- ・施工条件: 5°C以上
- ・プライマーは必ず完全乾燥したベースコンクリートに塗布してください。
- ・プライマーには引火性溶剤を使用しています。火気には十分ご注意ください。

7.標準施工仕様

施工手順




施工仕様

|          |   |   |
|----------|---|---|
|          | <p>下地の清掃<br/>取り付け部分の水分、レイタンス、ホコリ等を完全に取り除く</p>   |   |
| <p>1</p> | <p><b>プライマー塗布</b><br/>使用前によく攪拌し、完全乾燥したベースコンクリートに付属の刷毛を使用し、50mm幅で塗布</p> <p>外側の型枠が外せない場合は室内側に、外せる場合は、鉄筋の外側に塗布(右記画像は室内側へ施工)</p> <p>プライマーは、成分が沈殿していることがあるため、使用前に必ずよく攪拌してからご使用ください</p> |   |
| <p>2</p> | <p><b>インサル基礎防蟻ジョイントハード貼り付け</b><br/>プライマーの上に貼り付け、圧着用ローラーで圧着していく</p> <p>圧着が弱いとプライマーとの間に隙間が生じ、浸水等の原因になりますので必ず行ってください。</p>  |  |

1,2はプライマーへの汚れ(レイタンス等)の付着による接着強度低下を避けるため、1面ずつ施工を行なってください。

**各部位処理方法**

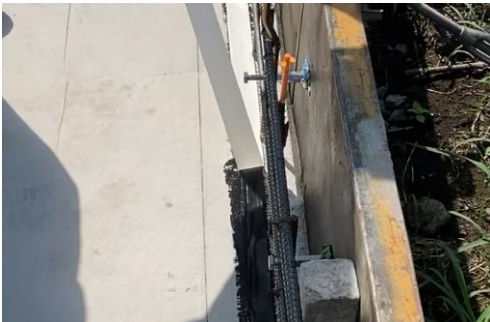

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p><b>接続部の処理</b><br/>30mm以上重ね貼りを行なう</p> <p>その際、重なる部分の端部は隙間が無いようにしっかりとローラーで圧着してください</p> |  |
|--|--|--|



赤丸の重なっている分に隙間が出来ないように圧着用ローラーでしっかりと隙間ができないよう注意しながら施工を行なってください。

|   |  |
|---|--|
| <p><b>コーナ部処理</b></p> <p>30mm(テープ幅分)重ね貼りを行なう。</p> <p>接続部同様に、端部に隙間ができないようにローラーで圧着してください</p>   |    |
| <p><b>セパレータ部の処理</b></p> <p>1: <u>基礎防蟻ジョイントハードの上にセパレータを設置</u><br/>基礎防蟻ジョイントハードを設置後、その上に押し付けながらセパレータを設置。</p> <p>基礎防蟻ジョイントハード隙間ができないよう、セパレータ設置時にしっかりと圧着させてください</p>   |    |
| <p>2: <u>セパレータ上部にプライマーを塗布</u><br/>設置したセパレータ上部に基礎防蟻ジョイントハード貼り付け部に、プライマーを幅 50mm で塗布</p>   |   |
| <p>3: <u>基礎防蟻ジョイントハード貼り付け</u><br/>セパレータ上部に 100mm 程度カットした基礎防蟻ジョイントハードを貼り付ける</p> <p>セパレータと基礎防蟻ジョイントハードとの間に隙間ができないよう、ローラーでしっかりと圧着させてください。</p>  |  |
| <p>打ち継ぎ部に水抜き配管等を設置する場合もセパレータと同様に上部への処理も行なってください</p>   |  |
| <p><b>鉄筋分岐部の処理</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.分岐部の鉄筋下部にプライマー塗布</li> <li>2.鉄筋までの距離+100mm 程度に基礎防蟻ジョイントハードをカット</li> <li>3.鉄筋と当たる部分のテープに切り込みを入れて、鉄筋を挟み込む</li> <li>4.隙間ができないように圧着する</li> </ol> |  |
| <p>鉄筋分岐部の鉄筋が基礎防蟻ジョイントハード施工箇所に来る場合は上記処理を必ず行ってください</p>  |  |



|          |   |  |
|----------|---|--|
| <p>3</p> | <p><b>表面フィルムをはがす</b></p> <p>立ち上り基礎コンクリート打設の時期が近い場合はすぐにはがしてもよいが、期間が空く場合は貼ったままにし、コンクリート打設直前にはがす</p> <p>表面フィルムはがさないでコンクリートとの反応が起こらず接着しないため、必ずはがしてください。</p> |  |
| <p>4</p> | <p><b>立ち上りコンクリートの打設</b></p> <p>表面フィルムをすべてはがしたことを確認し、立ち上り基礎部の生コンクリートを打設する</p>  |  |

8. 施工後の注意事項

- ・廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従ってください。
- ・保管については、涼しい所・換気の良い屋内、施錠して保管してください。
- ・製品の使用期限目安は製造日より1年になります。開封後はできるだけ早く使い切ってください。
- ・プライマーは消防法危険物 第四類第一石油類 危険等級Ⅱに該当しますので、適切な保管を行ってください。